

2年連続受賞！！ 全国乾椎茸品評会で管内の生産者が農林水産大臣賞を受賞！

久慈地方の乾しいたけは、品質の高さで全国的に高い評価を得ていますが、放射性物質の影響により市場単価の低迷が続き、極めて深刻な風評被害の影響を受けています。

こうした中、昨年に続き、全国乾椎茸品評会において管内の生産者が最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。



【8月4日 知事へ受賞報告する久慈石太郎氏】

1 第62回全国乾椎茸品評会

今年は降雪が多く、発生前の条件が良かったため、良好な発生を期待していましたが、4月以降の発生時期に入ると、少雨や強風により乾燥状態が続き、発生の遅れと発生量が少ないという厳しい気象状況が続きました。

厳しい状況にも負けず6月10日に開催した久慈地区乾しいたけ品評会の上位入賞者を全国品評会へ出品したところ、天白どんこの部で、久慈市の久慈石太郎氏が自身初となる農林水産大臣賞を見事受賞しました。

また、団体の部では、4年ぶりに岩手県が

準優勝となり、管内の作品がその受賞の原動力となりました。



【大臣賞受賞作品：天白どんこ】

2 第42回日椎連乾椎茸箱物品評会

日本椎茸農業協同組合連合会主催の箱物品評会では、スライスの部で同じく久慈石太郎氏(久慈市)が林野庁長官賞(最高賞)を何と7年連続で受賞する快挙を成し遂げています。

この他、全国乾椎茸品評会では天白どんこの部で毛糠敏昭氏(洋野町)が、また、全農乾椎茸品評会では花どんこの部で中居齋氏(普代村)が、それぞれ林野庁長官賞を受賞しました。

逆境にも負けず、昨年に続き最高賞をはじめ上位入賞者を多数輩出でき、久慈地方産の「品質の高さ」と「意気込み」を全国に示すことができました。